

子ども 鳥取県政 つなぐ 11

しょうちゅうがくせいも とつとりけん とくしょうかい
小中学生向けに鳥取県の取り組みを紹介しています。

とつとりけんちゅうぶじしんねん
鳥取県中部地震から1年

鳥取県中部地震は、平成28年10月21日午後2時7分に県中部を中心に起こりました。地震の規模の大きさを表すマグニチュードは6.6。揺れの大きさを表す震度は最大6弱の大きな地震でした。



ブルーシートが掛けられた家

幸いにも死者は出ませんでした。県中部を中心に多くの建物が壊れました。(全壊家屋18戸、半壊家屋312戸、一部が壊れた家屋15,031戸など) ※7月20日現在



被害を受けた白壁土蔵群

この地震では、建物の一部が壊れて、ブルーシートで応急対応することが多くありました。復旧は進んでいますが、地震から1年近くたった今も修理が完了していない建物があります。

その他にも、道路が壊れたり、重要文化財となっている三徳山三佛寺投入堂への参道の岩場に亀裂が入ったり、収穫前の梨が木から落ちたりするなど、いろいろな被害がありました。

過去に鳥取県で起きた大きな地震



鳥取県西部地震の時に起きた落石

平成12年10月6日、日野町を中心に鳥取県西部地震が起こりました。この時の揺れの大きさは最大震度6強で、鳥取県中部地震より大きいものでした。たくさんの方がけがをしたり、多くの建物が壊れたりして、大きな被害が出ました。

また、昭和18年には鳥取市を中心に鳥取大震災が起き、千人を超える死者を出した歴史もあります。



地震への対応について

今後も大きな地震が県内で発生する可能性があります。そして、それはいつ起きるか分かりません。地震が起きたらまずは自分で自分の身を守ることが大切。普段から備えておくことが大切です。

◆ 普段の備え

- (1) 身を守る訓練をしましょう**
地震のときには、①体を低くする ②頭を守る ③揺れがおさまるまで動かないこと。学校での避難訓練で身につけましょう。
- (2) 避難できるようにしましょう**
地震の揺れがおさまったら、安全な場所に避難。特に海の近くにいるときには、津波から逃げるため高いところに避難することが大切です。どこに避難すればいいか、普段から考えておきましょう。
- (3) 対応を家族で話し合しましょう**
地震のときには、電話の回線が混み合い、家族と連絡を取りにくくなります。家族と連絡を取る方法や安全になったら集まる場所についても話し合しましょう。

◆ 大きな地震が発生したときの対応

- (1) 学校にいる場合**
すぐに身を守る行動を。先生の言うことをよく聞いて、落ち着いて行動しましょう。
- (2) 外にいる場合**
ブロック塀や看板などのように倒れたり落ちてきたりするものから離れ、学校の校庭や公園など、近くの安全な場所に避難しましょう。
- (3) 家にいる場合**
すぐに身を守る行動を。揺れがおさまってから、割れたガラスや花瓶などがいないか気をつけながら外に避難。この時エレベーターは使わずに徒歩で避難するようにしましょう。

問い合わせ先 県庁危機管理政策課 【電話】0857-26-7894 【FAX】0857-26-8137